

SLT/SIU Library Topix

札幌国際大学図書館 ライブラリーサポーター広報紙 (第19号)

Library Supporter public relations paper of Sapporo International University (vol.19)

寒い冬が続いていますが、
学生たちがワクワクする本を
たくさん集めました！！
冬にぴったりの本もあるので、
あったか〜い図書館でゆっくり
読んでみてください！！



紹介者H

大人になったら読めない 漢字

社会に出れば使う漢字が増え、いつの間にか難しい言葉で会話していて、メールでやり取りをするが、読めているつもりでも実は間違えていると、社会に出る前に先にこの本を読んで気づいてもらいたい一冊。

紹介者A

35年目のラブレター

読み書きができないまま大人になった主人公の男性は差別的な扱いを受けてきました。しかし妻に手紙で感謝を伝えるために64歳で夜間中学に通うことを決めたのです。互いを思い合う夫婦の姿が心に残る1冊です。

紹介者H

外国人のあたりまえ図鑑

そのあたりまえ、他国の人にとっては大迷惑！？
そんな事がたくさん載っている本、留学生が多く、外国人観光客が多い日本だからこそ知っておきたいその国によって重宝しないとイケないルールがたくさん詰まった1冊。

紹介者K

マンガでわかる発達障害 グレーゾーン

マンガで発達障害グレーゾーンの特徴や困りごとをやさしく解説。多様なタイプの悩みを具体例で示し、理解や支援のヒントが得られる実用的な入門書。

紹介者I

月とコーヒー テミタス

吉田篤弘による小説『月とコーヒー』は、特定の主人公やストーリーがあるわけではなく、日常のささやかな風景や感情を独自の視点で切り取った、詩的で哲学的な短編小説です。

紹介者N

蛍たちの祈り

皆さんは今まで生きてきた中で、どうしようもなく辛い状況はありましたか？この本では、主人公たちが辛い状況や運命に翻弄されながらも、必死に生きていく様が描かれています。主人公たちの過酷ながらも温かい人生を、ぜひ手に取って感じてみてください。

紹介者S

奇界遺産

私達が想像もできないほど広大で奇怪な世界。この本を見るだけで世界への見方が少し変わる。そんな奇譚（キタン）を図鑑形式で味わう一冊。

紹介者I

人生で後悔しているたった ひとつのこと

末期がんを宣告された著者が「限りある人生」を前にして初めて気づいた、生き方の本質と本当に後悔したこと。死と向き合う中で見えた、大切な時間の使い方を教えてくれる一冊。